



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月30日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績 (2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,915	6.7	442	24.7	584	6.6	513	37.9
2023年9月期第3四半期	3,670	5.1	354	25.6	548	13.0	372	10.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	368.14	—
2023年9月期第3四半期	266.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	19,395	9,610	49.6
2023年9月期	18,853	9,104	48.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 9,610百万円 2023年9月期 9,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年9月期	—	0.00	—		
2024年9月期 (予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	4.1	530	0.5	670	△10.1	560	9.2	401.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日 (2024年7月30日) 公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	1,404,000株	2023年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	7,901株	2023年9月期	7,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	1,396,099株	2023年9月期3Q	1,396,126株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	8
(四半期損益計算書に関する注記)	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が期待される中、緩やかに回復し、個人消費は足踏みしつつも持ち直し、企業収益も総じてみれば改善しました。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、保険事業、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では3,915百万円（前年同期比245百万円増）と前年同期比増収となりました。営業総利益につきましては、保険事業、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では921百万円（前年同期比97百万円増）と前年同期比増益となりました。一般管理費は478百万円（前年同期比9百万円増）と前年同期を上回り、営業利益は442百万円（前年同期比87百万円増）と前年同期比増益となりました。営業外収益に会員権消却益112百万円（前年同期比58百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は584百万円（前年同期比36百万円増）、四半期純利益は513百万円（前年同期比141百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

リスク管理の専門家としての強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスクパートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。

営業収益は、生命保険分野では新たにいただいたご契約の減少を主因に前年同期を下回りましたが、損害保険分野では期日を迎えるご契約の更改が順調に進んだことに加えて新たなご契約も数多くいただいて前年同期を上回り、全体では864百万円（前年同期比15百万円増）となりました。営業原価は適正な経費コントロールにより前年同期を下回り、営業総利益は343百万円（前年同期比49百万円増）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユーレジデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は953百万円（前年同期比44百万円増）となりました。営業原価は物件取得に伴う経費増等を主因に前年同期を上回り、営業総利益は586百万円（前年同期比31百万円増）となりました。

③千本松牧場

各種メディアを通じた牧場プロモーションや団体のお客様の誘致に引き続き注力し、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回り、特に2024年6月には、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年6月を上回るお客様にご来場いただきました。施設内では、毎年恒例のいちご園の開園、お客様向け遊具エリアの拡大等、ご来場者様により「安心安全」に、一層お楽しみいただける牧場づくりに努め、観光施設は前年同期比増収となりました。

2023年12月に着手したレストラン・売店棟のリニューアル工事につきましては、営業を継続しつつ、安全を第一に計画的に取り組んでおります。

2024年4月には、群馬県太田市のイオンモール太田に4店目となるソフトクリームショップをオープンし、お客様からご好評をいただいて順調に売上を伸ばしております。

外販営業は地元量販店向けやソフトミックスの販売が伸長し、前年同期比増収となりました。また、東京駅構内での当社製品の販売等、他社との協業にも積極的に取り組んでおります。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに減少しましたが、乳価改定等により前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で1,550百万円（前年同期比200百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加や、施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前年同期比増加し、営業総利益は72百万円（前年同期比54百万円増）となりました。

④ゴルフ事業

SNSやメール配信システムを活用して引き続き積極的な情報発信に取り組むとともに、魅力ある平日プランのご提供、会員様宛てサービスの充実、土日早朝営業の開始等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、コースの醍醐味や楽しみ方をご案内するタブレット端末の配置や、食事メニュー・レシピの改善等により、ご来場いただいたお客様に、より楽しく快適にお過ごしいただけるよう注力いたしました。

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションにつきましては、従来以上に充実したコース整備計画を立案して、維持・向上に努めました。

2024年6月には、西那須野カントリー倶楽部において4年連続となる男子プロトーナメントが開催され、参加いただいた男子プロからコースコンディションを高く評価いただくとともに、ネット配信等を通じて、我が国有数のゴルフ場としての認知度を更に高めることができました。

営業収益は、料金改定の影響等によるご来場者数の減少を主因に前年同期を下回り、営業収益は546百万円（前年同期比15百万円減）となりました。営業原価はコース整備関連機器の更新や施設改修に係る費用の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は81百万円（前年同期比38百万円悪化）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、19,395百万円となり、前事業年度末比541百万円増加しました。

流動資産は、現金及び預金の減少を主因に前事業年度末比1,225百万円減少し、2,556百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加を主因に前事業年度末比1,766百万円増加し、16,838百万円になりました。

負債は、長期預り保証金の減少がありましたが、一方で長期借入金の増加を主因に、前事業年度末比35百万円増加し、9,784百万円になりました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末比506百万円増加し、9,610百万円になりました。自己資本比率は49.6%と、前事業年度末比1.3ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、中期経営計画の柱である「成長モデルへの転換のための基盤整備」を目的とする収益拡大の効果が当初想定以上に推移していることを主因に、営業利益・経常利益は予想を上回って推移しております。加えて、投資有価証券売却益（特別利益）もあり、当期純利益についても予想を上回る見込みとなることから、今般、通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2024年7月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,955	1,833,988
受取手形及び売掛金	360,657	361,688
商品及び製品	127,290	149,470
仕掛品	7,779	14,247
原材料及び貯蔵品	59,237	63,847
その他	100,323	133,680
貸倒引当金	△53	△36
流動資産合計	3,782,191	2,556,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,585,957	4,149,608
土地	8,226,987	9,147,406
その他(純額)	2,013,180	2,211,651
有形固定資産合計	13,826,125	15,508,667
無形固定資産	31,080	26,518
投資その他の資産		
その他	1,237,558	1,303,337
貸倒引当金	△23,000	—
投資その他の資産合計	1,214,558	1,303,337
固定資産合計	15,071,764	16,838,523
資産合計	18,853,956	19,395,410
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,505	97,671
未払法人税等	131,215	58,951
1年内返済予定の長期借入金	100,000	120,800
引当金	112,090	40,720
その他	787,639	674,040
流動負債合計	1,240,450	992,184
固定負債		
長期預り保証金	5,622,916	5,428,172
長期借入金	2,600,000	3,029,200
引当金	106,930	93,593
資産除去債務	99,728	103,110
その他	79,306	138,218
固定負債合計	8,508,881	8,792,293
負債合計	9,749,331	9,784,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,977,171	4,407,361
自己株式	△19,452	△19,452
株主資本合計	8,825,320	9,255,511
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	279,303	355,421
評価・換算差額等合計	279,303	355,421
純資産合計	9,104,624	9,610,932
負債純資産合計	18,853,956	19,395,410

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
営業収益	3,670,430	3,915,492
営業原価	2,846,846	2,994,454
営業総利益	823,583	921,038
一般管理費	469,197	478,976
営業利益	354,386	442,062
営業外収益		
受取利息	23	10
受取配当金	41,055	35,171
会員権消却益	171,110	112,333
その他	21,495	34,991
営業外収益合計	233,684	182,506
営業外費用		
支払利息	22,181	22,225
乳牛除売却損	14,280	12,932
その他	3,046	4,571
営業外費用合計	39,507	39,729
経常利益	548,563	584,840
特別利益		
固定資産売却益	12,290	161
投資有価証券売却益	—	144,303
特別利益合計	12,290	144,464
特別損失		
固定資産除売却損	8,745	17,725
減損損失	39,784	—
特別損失合計	48,529	17,725
税引前四半期純利益	512,324	711,580
法人税、住民税及び事業税	110,451	144,818
法人税等調整額	29,148	52,805
法人税等合計	139,599	197,624
四半期純利益	372,724	513,956

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

第1四半期会計期間において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ7,661千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	849,227	13,852	1,350,487	561,664	2,775,231	—	2,775,231
その他の収益 (注) 3	—	895,198	—	—	895,198	—	895,198
外部顧客への営業収益	849,227	909,051	1,350,487	561,664	3,670,430	—	3,670,430
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	3,749	—	3,749	△3,749	—
計	849,227	909,051	1,354,236	561,664	3,674,180	△3,749	3,670,430
セグメント利益又は損失 (△)	293,751	555,641	17,442	△43,251	823,583	△469,197	354,386

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△469,197千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	39,784	39,784

Ⅱ 当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	864,820	11,745	1,550,988	546,233	2,973,789	—	2,973,789
その他の収益 (注) 3	—	941,703	—	—	941,703	—	941,703
外部顧客への営業収益	864,820	953,449	1,550,988	546,233	3,915,492	—	3,915,492
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	2,963	—	2,963	△2,963	—
計	864,820	953,449	1,553,952	546,233	3,918,456	△2,963	3,915,492
セグメント利益又は損失 (△)	343,656	586,853	72,439	△81,910	921,038	△478,976	442,062

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△478,976千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(固定資産の耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更に関する注記」に記載のとおり、第1四半期会計期間において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間のセグメント利益が、「千本松牧場」で7,661千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

1 現金及び預金

前事業年度 (2023年9月30日)

現金及び預金のうち134,355千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)

現金及び預金のうち68,510千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
建物	1,179,872千円	1,808,906千円
構築物	584	541
機械及び装置	8,041	7,083
土地	3,073,339	4,141,256
合計	4,261,838	5,957,788

担保付債務は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
1年内返済予定の長期借入金	100,000千円	120,800千円
長期借入金	2,600,000	3,029,200
合計	2,700,000	3,150,000

(四半期損益計算書に関する注記)

減損損失

前第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

用途	場所	種類	減損損失 (千円)
処分予定資産	栃木県那須塩原市	土地	39,784
合計			39,784

当社は、管理会計上の事業区分に基づく事業部を単位として資産をグルーピングしており、固定資産について、資産グループごと、また、遊休資産及び処分予定資産については個別物件単位で減損の兆候の有無を判定しております。

上記の資産は、売却等の方針の決定により、資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、減損損失の測定に使用した回収可能価額は、正味売却価額であります。正味売却価額は売却予定価額から処分費用見込額を控除して算定しております。なお、当該資産は2024年5月に売却しております。

当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	251,481千円	280,568千円